

平成24年度

熊本県宇城市における地域参加 型の災害情報コミュニケーション ンモジュールの開発

担当代表者：丸山 敬

気象・水象災害研究部門 耐風構造研究分野


研究目的

▶ 自治体防災担当者と住民が災害情報(発生場所や状況)を随時インターネットでやり取りできる仕組みの構築

→・専門家と地域住民による地域ハザードマップの共同生成、・災害に関する地域情報の専門家への提供、・専門家、一般市民、自治体職員の垣根を越えて利用可能な災害データベースの構築、等に利用を目指して。

▶ 防災・減災のための準備・対処方法を身に付けるための防災マニュアルを試作

→自主防災組織の研修会等で、講師として活動できる人材養成のための教材としても使えるように。



研究成果

▶ 災害情報ハンドリングモジュールの試作

GISシステムを利用して、災害発生地点の状況をスマートフォンやパソコンなどからネット上にアップし、地図上に表示・閲覧できる仕組みを試作した。試作したモジュールは宇城市において建物の耐風性能の調査、具体的には、宇城市のある地区において、建物の写真を撮影し、階数、屋根形状、構造種別などのデータと、建物の位置を地図上に対応づけたデータベースを試験的に作成し、運用上の問題点や、データのマネージメントにおける問題点の洗い出しを行った。

▶ 防災マニュアルの作成

・自治体職員向けの防災マニュアル：

災害発生時の自治体職員や関係する自主防災組織において指導的役割を果たし、自治体防災担当職員と連携しながら、市民の避難や復旧活動など、災害対策活動を指導する立場の人材を育成するためのマニュアルとしても活用。

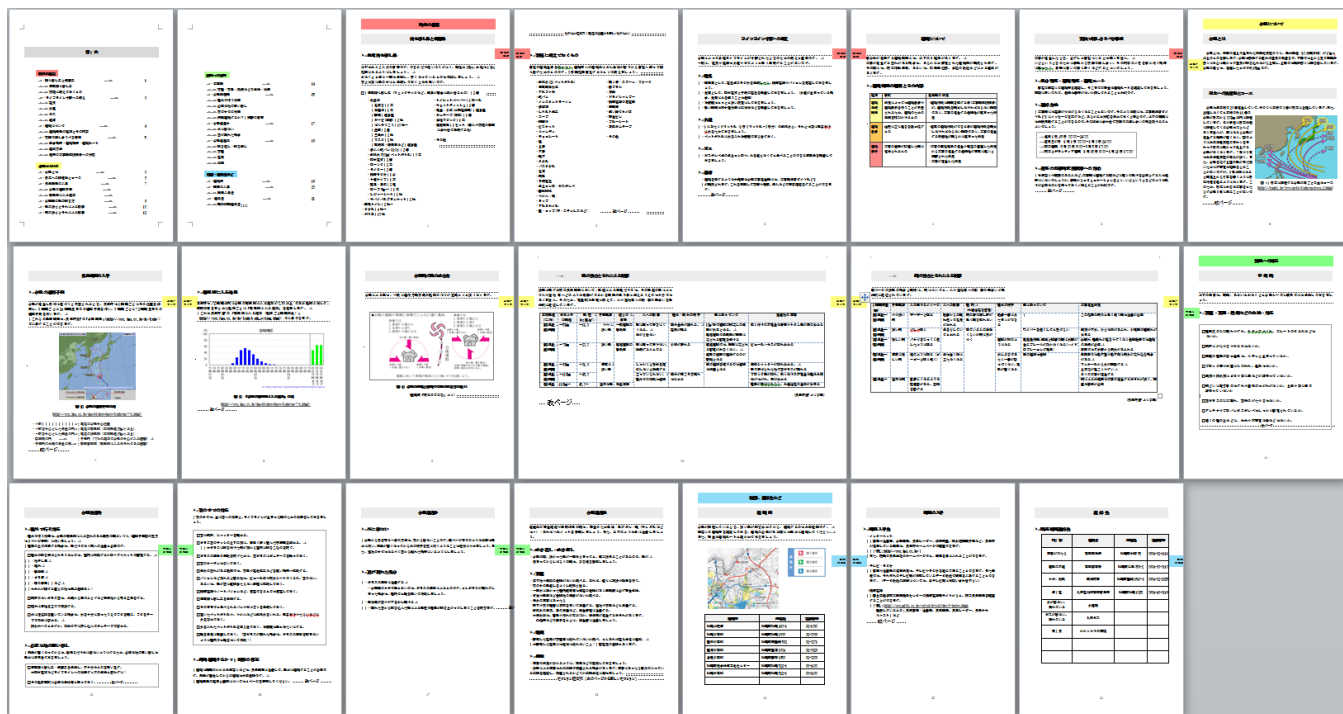

住民用の災害対応パンフレット：台風接近時の強風災害に対する事前の準備、最中の対応に関して、最も注意しなければならない点、最も防災・減災上有用な点に絞り込んだ、A4見開き4ページの冊子として作成した。

アウトリーチ・アウトプット(その1)

▶ 自治体職員向けの防災マニュアル

台風時の強風災害
対応マニュアル

2013年3月
熊本県宇城市



The image displays a grid of 24 pages from a disaster manual. The pages are organized into three rows and eight columns. The first row contains the title page and several introductory pages. The second row includes a map of the region, a bar chart showing wind speed data, and a flowchart of emergency procedures. The third row contains detailed text-based instructions and a table of emergency contact information. The pages are color-coded with headers in red, yellow, and green, indicating different levels of urgency or importance.

アウトリーチ・アウトプット(その2)

▶ 住民向けの防災マニュアルの作成

明日台風が来る!

強風への備え4カ条

1. 窓をまもる
2. 物を飛ばさない
3. 外に出ない
4. ガラスに注意

詳しくは中へ

1. 窓をまもる

この危険が! 窓が壊れると、風や物が吹き込みます。ガラスの破片はケガの原因になります。

どうすればいいの! 窓戸・シャッターを閉め、固定するほか、破れ目も目をつけておく。破れ目から風が吹き込まないように、養生テープを貼ります。

カーテンを閉める。窓ガラスにテープを貼る。破れ目から風が吹き込まないように、養生テープを貼ります。

破れた窓ガラスは、破片が飛び出す危険があります。破れた窓ガラスは、破片が飛び出す危険があります。破れた窓ガラスは、破片が飛び出す危険があります。

2. 物を飛ばさない

この危険が! 自分の家から飛び出ると、被害者になることがあります。

どうすればいいの! 家の周りの飛びそうな物は、室内に入れるか、固定する。

家の周りの飛びそうな物は、室内に入れるか、固定する。

一人ひとりが自分の家の周囲を確認し、飛び出さないようにします。

3. 外に出ない

この危険が! 台風による強風のほとんどが、強風で被害に遭っています。

どうすればいいの! 対策は早め。必要なものだけを持ち、避難所へ！

避難所へ行く時は、必ず避難所へ行く。避難所へ行く時は、必ず避難所へ行く。避難所へ行く時は、必ず避難所へ行く。

避難所へ行く時は、必ず避難所へ行く。避難所へ行く時は、必ず避難所へ行く。避難所へ行く時は、必ず避難所へ行く。

4. ガラスに注意

この危険が! 強風によるガラスの破損は、被害者にもなります。

どうすればいいの! 窓から離れる。割れたガラスの破片に注意！

窓から離れる。割れたガラスの破片に注意！

窓から離れる。割れたガラスの破片に注意！

台風情報の見方

台風情報は、気象庁のホームページで確認してください。

台風情報は、気象庁のホームページで確認してください。

台風情報は、気象庁のホームページで確認してください。

緊急連絡先

災害種別	連絡先	電話番号
災害救助法	災害救助法	050-3535-1111
災害対策本部	災害対策本部	050-3535-1111
119(消防)	消防本部	050-3535-1111
112(警察)	警察本部	050-3535-1111
110(警視庁)	警視庁	050-3535-1111
118(救急)	救急センター	050-3535-1111
119(消防)	消防本部	050-3535-1111
119(消防)	消防本部	050-3535-1111

詳しくは中へ